

2023年

ラ・ソース大学（スイス）での 短期留学の報告

◆ 本学では、2018年3月から、スイスのラ・ソース大学との相互交流及び共同研究に関する協定を結んでいます。相互交流の一環として、本学学生の短期留学を受け入れていただいています。

2023年2月24日～3月20日の3週間、本学から学生5名がラ・ソース大学へ短期留学に行きました。

短期留学参加学生の報告文は以下のとおりです。

留学中は、スイスの看護学生と共に講義を受けたり、領域別の演習に参加したり、スイスでの病院実習を体験したりしました。公立病院と私立病院合わせて5つの病院で実習や見学を行い、日本とスイスの医療の相違点や、多様性を理解し看護を提供することの重要性について学びました。



ラ・ソース大学での記念写真



学生同士で学びの共有

特に印象に残ったことは、講義において学生が主体的に学んでいたことです。救急医療の講義では、理解が難しい部分を自ら質問し、学生同士でディスカッションし、得た知識をすぐに実践することで学びを深めることができました。

スイスでは、学生と共に寮で生活しました。お互いの国の料理を作ったり、休日に出かけたりするなど、コミュニケーションを通して交流を深めることで異文化理解にもつながりました。

ジュネーブにある国際連合と国際赤十字博物館に訪問しました。国際連合では、国を超えて一つの問題に対して向き合うことの重要性を感じました。国際赤十字博物館では、人道と博愛の精神に基づいた活動の実際を知り、赤十字大学で看護を学ぶ意義について改めて考えることができました。

今回の留学は、スイスの医療制度や看護の実際、異文化理解の必要性について学ぶ貴重な経験となりました。国や文化の違いを尊重し、主体的に学びながら看護を提供していける看護師になりたいと思います。



看護技術の体験

